

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月2日

上場会社名 ホクト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1379 URL http://www.hokto-kinoko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 雅義
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高藤 富夫 TEL 026-259-5955
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	27,779	6.4	△2,783	—	△2,502	—	△1,955	—
29年3月期第2四半期	26,106	△3.9	△2,132	—	△2,751	—	△2,127	—

（注）包括利益 30年3月期第2四半期 △1,755百万円（-％） 29年3月期第2四半期 △1,903百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△60.88	—
29年3月期第2四半期	△66.34	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	101,059	48,427	47.9
29年3月期	94,738	51,736	54.6

（参考）自己資本 30年3月期第2四半期 48,427百万円 29年3月期 51,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	50.00	60.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	50.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,800	4.2	2,250	△34.4	2,870	△34.5	1,870	△33.9	56.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	33,359,040株	29年3月期	33,359,040株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,214,934株	29年3月期	1,240,942株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	32,128,997株	29年3月期2Q	32,068,781株

(注)自己株式数には、従業員持株信託E S O P口の保有する当社株47,200株を含めて表示しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善傾向が続く中で、緩やかな回復基調にあるものの、依然として不安定な海外情勢等から、先行きは不透明な状況が続いてまいりました。また、可処分所得の伸び悩みなか、消費者の根強い節約志向と個人消費の低迷が続いており、当社を取り巻く環境は厳しい状況となっております。

このような経済環境の中、当社グループは引き続き、きのこ事業を中心として、健康食材である「きのこ」の研究開発、生産、販売を通してより多くの皆さまへ、おいしさと健康をお届けできるよう事業活動を行ってまいりました。また、当期も、中期的な事業展開に向けた新たな課題に対応するため、「お客様のニーズにお応えした商品戦略、事業戦略の構築」を主眼に置いた経営戦略を実践し、市況に左右されない強靱な企業体質を構築するべく、事業活動を推進してまいりました。

しかしながら、原材料の高騰、人件費の上昇（準社員を地域限定社員に変更したため）、野菜相場の低迷等により、きのこの価格も極めて厳しい状況で推移致しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高277億79百万円（前年同四半期比6.4%増）、営業損失27億83百万円（前年同四半期営業損失金額21億32百万円）、経常損失25億2百万円（前年同四半期経常損失金額27億51百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は19億55百万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失金額21億27百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の生産量は、ブナピーを含めブナシメジ20,705 t（同5.4%増）、エリンギ9,321 t（同0.8%減）、マイタケ7,026 t（同0.6%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

「国内きのこ事業」

生産部門におきましては、安全・安心なきのこを提供するため、衛生管理を徹底し、品質の向上と安定栽培に努めてまいりました。

研究部門におきましては、品質管理体制の強化、付加価値の高い新製品の開発及びきのこの薬理効果や機能性の追求に取り組んでまいりました。特に、シイタケ栽培技術研究施設におきまして、シイタケの大量・安定栽培に向けた研究に注力して参りましたが、平成30年9月より収穫・出荷できるように、長野県小諸市にシイタケきのこセンターを建設することを発表致しました。

営業部門におきましては、「菌活」及び「きのこには、スポーツをするカラダに必要なビタミン、ミネラルなどの潤滑栄養素が豊富に含まれていること」を訴求することで消費行動を促すとともに、鮮度に拘った営業活動を行ってまいりました。生産量は順調でありましたが、個人消費の回復の遅れなど厳しい販売環境にあったこと、野菜が豊富に出回り野菜相場が低位で推移したこと等により、きのこの価格は厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、国内きのこ事業全体の売上高は171億80百万円（同5.2%増）となりました。

「海外きのこ事業」

海外きのこ事業におきましては、米国、台湾及びマレーシアの子会社全てが稼働率を高めたことにより生産量は増加いたしました。米国の現地法人「HOKTO KINOKO COMPANY」におきましては、引き続き非アジア系顧客マーケットの開拓に注力し、販売の拡大を目指してまいりました。台湾の現地法人「台湾北斗生技股份有限公司」におきましては、ブランドの構築、企画提案などに力を入れ販売活動を行ってまいりましたが、同業他社の増産によって流通量が増加したこと等により、きのこの価格は厳しい状況で推移いたしました。マレーシアの現地法人「HOKTO MALAYSIA SDN. BHD.」におきましては、マレーシア国内に限らず、広く東南アジアのマーケットでの販売を展開してまいりました。また、当社の海外事業本部におきましては、引き続き欧州でのマーケティング活動を行ってまいりました。

以上の結果、海外きのこ事業全体の売上高は21億69百万円（同22.9%増）となりました。

「加工品事業」

加工品事業におきましては、水煮・冷凍・乾燥アイテムの開発及び市場開拓、自社きのこを活用した新商品の開発及び健康食品・レトルト食品を中心とした通販事業などに注力してまいりました。

以上の結果、加工品事業の売上高は34億11百万円（同4.1%増）となりました。

〔化成品事業〕

化成品事業におきましては、引き続き厳しい販売環境にありましたが、中核である包装資材部門におきましては、新規開拓・利益率の向上に注力してまいりました。農業資材部門におきましては、営業力強化のための増員を行い、大型物件獲得に繋がりました。新規戦略本部におきましては、自社製品製造工場の安定稼働と販売強化に注力してまいりました。

以上の結果、化成品事業の売上高は50億17百万円（同6.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は214億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億85百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が20億97百万円、商品及び製品が6億8百万円及び仕掛品が4億89百万円増加したことによるものであります。固定資産は795億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億34百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が17億77百万円、投資その他の資産が11億27百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,010億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億20百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は388億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ98億18百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が92億51百万円、支払手形及び買掛金が8億54百万円増加したことによるものであります。固定負債は137億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億88百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は526億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ96億29百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は484億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億9百万円減少いたしました。これは主に、配当金16億5百万円の支払と親会社株主に帰属する四半期純損失19億55百万円の計上により利益剰余金が35億61百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は47.9%（前連結会計年度末は54.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、国内の経済情勢が堅調に推移しているものの、不透明な海外景気からくる先行き不安や、雇用情勢の改善にも関わらず個人消費の回復が遅れていること、きのこ市場が暖冬などの天候要因や市場の需給環境に影響されるなど通期の見通しに対し不透明な要因もあることから、平成29年5月12日公表の通期業績予想を据え置くことといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,047	5,960
受取手形及び売掛金	5,172	7,269
商品及び製品	1,455	2,064
仕掛品	3,402	3,891
原材料及び貯蔵品	615	657
その他	1,318	1,654
貸倒引当金	△21	△20
流動資産合計	17,990	21,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,967	60,839
減価償却累計額	△23,272	△24,212
建物及び構築物（純額）	33,695	36,627
機械装置及び運搬具	46,322	48,209
減価償却累計額	△27,190	△29,493
機械装置及び運搬具（純額）	19,131	18,716
土地	14,043	14,145
その他	2,917	2,154
減価償却累計額	△1,437	△1,515
その他（純額）	1,479	639
有形固定資産合計	68,350	70,128
無形固定資産		
のれん	322	257
その他	81	75
無形固定資産合計	403	333
投資その他の資産		
投資有価証券	6,315	6,752
退職給付に係る資産	795	819
その他	902	1,568
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	7,993	9,120
固定資産合計	76,747	79,582
資産合計	94,738	101,059

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,592	6,447
短期借入金	16,669	25,921
未払法人税等	1,418	152
賞与引当金	1,007	1,048
その他	4,327	5,264
流動負債合計	29,015	38,833
固定負債		
長期借入金	12,538	12,270
退職給付に係る負債	340	338
資産除去債務	188	190
その他	918	997
固定負債合計	13,986	13,797
負債合計	43,001	52,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,828	5,840
利益剰余金	41,835	38,273
自己株式	△2,222	△2,182
株主資本合計	50,941	47,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,748	1,920
為替換算調整勘定	△571	△568
退職給付に係る調整累計額	△381	△355
その他の包括利益累計額合計	795	996
純資産合計	51,736	48,427
負債純資産合計	94,738	101,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	26,106	27,779
売上原価	21,636	23,388
売上総利益	4,470	4,390
販売費及び一般管理費		
販売手数料	1,558	1,736
運搬費	1,742	1,817
賞与引当金繰入額	179	213
その他	3,122	3,406
販売費及び一般管理費合計	6,603	7,174
営業損失(△)	△2,132	△2,783
営業外収益		
受取配当金	60	88
受取地代家賃	144	152
助成金収入	86	115
その他	22	47
営業外収益合計	313	404
営業外費用		
支払利息	55	45
為替差損	873	73
その他	2	3
営業外費用合計	932	122
経常損失(△)	△2,751	△2,502
特別利益		
固定資産売却益	1	0
新株予約権戻入益	22	—
その他	1	—
特別利益合計	25	0
特別損失		
固定資産除却損	89	0
その他	1	0
特別損失合計	91	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,816	△2,502
法人税、住民税及び事業税	113	127
法人税等調整額	△802	△673
法人税等合計	△689	△546
四半期純損失(△)	△2,127	△1,955
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,127	△1,955

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,127	△1,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161	172
為替換算調整勘定	78	2
退職給付に係る調整額	△15	25
その他の包括利益合計	224	200
四半期包括利益	△1,903	△1,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,903	△1,755
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません